

Ryukoku University
Faculty of
Intercultural
Communication



そうだ龍大だ!
&
そうや国際や!



人と喋るのが好きな人！

海外に興味のある人！

国際社会の発展に貢献したい人！

国際文化学部へいらっしやい。

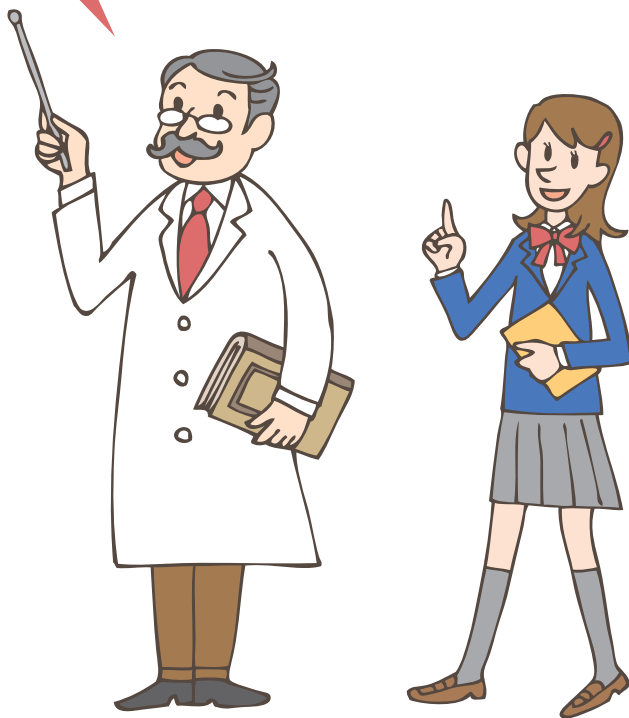
在学生からの
メッセージ

片岡 稔彦さん (2009年入学 4年生)

自分次第である環境であるからこそ、己と向き合い、出来ること、やりたいことが見えてくる。新しい発見、出会い、挑戦…国際文化学部であるからこそ得られるものがここにはある。

池上 宗仲さん (2009年入学 4年生)

国際文化学部最大の特徴はその個性の強さ。世界各国から集う教員陣だけでなく、スタッフ、学生全員…。四年間じゃ短すぎるくらい楽しいところです。



そうだ龍大!
そうや国際や!

Ryukoku University Faculty of Intercultural Communication

Contents

異文化ってなに? —————	02
コミュニケーションってなに? —————	03
外国語、どう学ぶ? —————	04
コース紹介 —————	05
2012 ゼミテーマ一覧 —————	06
高校と大学での学びの違い —————	07
教員紹介 —————	08
留学プログラム紹介 —————	10
留学までの流れ —————	12
卒業生からのメッセージ —————	14
国際文化学部は新しい時代の実学の場 —————	15
国際文化ってなに? —————	15
【対談】学部長 × 教務課長 —————	16
【座談会】在学生 × 卒業生 —————	20
Q & A + Information —————	24
2015年4月から深草へ —————	26
アクセスマップ —————	27

そうだ龍大!
そうや国際や!



龍谷大学国際文化学部に入るとどんな人になれるの?
何が出来るようになるの?教えてー。



ん?呼びましたか?

そうですか。そうですか。では、お教えしましょう。

国際文化学部では、「異なる文化を受け入れて尊重し、国際的なコミュニケーションのできる能力と人格を備えた人間」を育成することを教育理念・目的としています。

そう。この学部に入ると「異文化」が理解できるようになるのです。

でも、気をつけて!異文化=外国文化ではありませんよ。自分の身の回りにも沢山の異文化があるのです。お父さんやお母さん、先生の言うことが理解できない事ありますよね。「ジェネレーションギャップ」という異文化がそこに存在しているのです。先輩がうるさいことないですか?先輩と後輩の「立場の違い」による異文化があるのです。朝食はご飯?パン?そこには「家庭による違い」があります。このようにみなさんは「異文化」に囲まれて生活しています。自分以外はみんな「異文化」。だからこそ、自分を知ってもらふ努力や、相手のことを理解しようとする姿勢が普段から求められるのです。

へー。これまでは、外国の文化が異文化だと思っていました。



それに加え、最近は社会がグローバル化してきました。これまでのように、日本のことを考えているだけではダメなのですね。

ここで、松居竜五先生に、「異文化」について聞いてきました。



松居 竜五
(マツイ リュウゴ)
国際文化学部
国際文化学科 教授

異文化ってなに?

アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア。どんな地域の文化でも、若い人には自分のものとして取り入れて行く力があります。ということは、「異文化」というものは、正確に言えば存在しないのです。あるのは、すでに知っている文化と、まだ知らない文化の違いだけです。そして知らない文化を知っていくことは、これからの自分の可能性を大きく広げることにつながります。そこで立ち止まる人には、その機会は永久に訪れません。自分の手で、自分の将来を切り開いてください。

なるほどー。正確には「異文化」は存在せず、知っている文化と知らない文化があるだけなのですね。勉強になりました。



では、次に「コミュニケーション」について、
ニュージーランド人のChapple Julian先生をお願いします。



コミュニケーションってなに？

「コミュニケーション」という言葉は誰もが気軽に口にしますが、コミュニケーションとは一体何なのでしょう。「コミュニケーション」と聞くと、「会話」、「話し合い」、「手紙」、「メール」などといったものを思い浮かべる人が多いように思います。あるいは、音楽、絵本、手話、などを挙げる人もいます。しかし、こういったものは「コミュニケーション」ではなくコミュニケーションを行うための「手段」に過ぎません。コミュニケーションというのは「意思の疎通・伝達」であり、上記の手段を使って相手と「コミュニケーション」を図るといふプロセスです。コミュニケーションは、送り手が相手にメッセージを伝えるだけではなく、相手に自分の考えていることを正確に伝えることで初めて成立すると考えられます。重要なのは、コミュニケーションを取ること自体ではなく、「どのように行かか」ということです。また、その手段をうまく使うかどうかによって成果が変わってきます。コミュニケーションは奥深いものですが、深く理解して損はありません。私達にとってコミュニケーションは日常的に非常に重要なものにも関わらず、あまり真剣に考える機会がありません。国際文化学部でコミュニケーションの面白さについて多方面から勉強し、考えてみてはどうでしょうか。



Chapple Julian
(チャプレルジュリアン)
国際文化学部
国際文化学科 准教授



昨日友達とケンカになったとき、
「そんなつもりで言ったのじゃなかったのに」と思ったけど、
それは自分の伝え方が下手で、コミュニケーション能力が
不足していたというわけなのですね。
明日、友達に謝りに行きます。

そうです。常に「自分のことを正確に伝えよう」、「相手の立場になって考えよう」という姿勢が大切なのです。でも、国際化した社会では、日本語だけでコミュニケーションはとれないですね。「国際的なコミュニケーション」をとれるようになるため、日本語以外の外国語を話せるようになりますよ！



でもそれは、どうやって話せるようになるの？

いい質問ですね。

国際文化学部では英語、フランス語、中国語、コリア語、日本語（留学生対象）を学ぶことができます。それぞれの先生に勉強の仕方を聞いてみました。



そうだ龍大!
そうや国際や!



英語

松村 省一
(マツムラ ショウイチ)
国際文化学部 国際文化学科 教授

英語が話せるようになりたいと思っている人は多いですが、実際に仕事で使えるレベルにまで到達する人はなかなかいません。英語に限らず外国語学習は、地道な努力以外に成功する術はありませんが、多くの人が挫折してしまいます。その原因は、自分にあった学習法を知らないことによります。ラジオ講座を聞く、好きな洋楽を聞く、英語でニュースを見る、好きな洋画のスク립トを読む、英語で日記を書く等々いろいろ学習法はありますが、自ら楽しく取り組めて継続できる方法を選ぶことが大切です。国際文化学部には、みなさんにとって良いお手本となるバイリンガルの教員がたくさんいます。そうした外国語習得のプロからアドバイスをどんどんもらって、自分がどのような学習者で、自分にはどのような学習法があっているのかを知って英語を学習することです。また、国際文化学部は自分が学習したことを英語のネイティブスピーカーである教員や留学生に試す機会もたくさんありますから、仕事で使えるレベルにまで英語力を高めることも夢ではありません。



フランス語

Cardonnel Sylvain
(カルドネル シルヴァン)
国際文化学部 国際文化学科 教授

国際文化学部でフランス語を学ぶ利点は、フランス語担当教員7人の内に5人はフランス人で、オーラル・コミュニケーションの習得ができます。ネイティブの教員と話すことにより、応用できる能力を身につけます。集中的な学習の一貫として、短期または長期留学をめざしましょう。フランス語は重要なコミュニケーション言語で、ヨーロッパの他、五大大陸で話されていることばです。国際機関の公用語および作業語でもあります。フランス語を学ぶことで、英語圏文化とは一味違った文化に触れることができ、西洋理解が深まります。

外国語、どう学ぶ？



中国語

史 彤嵐
(シ トンラン)
国際文化学部 国際文化学科 准教授

中国語を楽しく勉強し早く上達する5カ条

- 中国語の学習は、なによりも発音をマスターすることを優先します。目に見えない音(ことば)を学ぶのです。
- 声を出して、模倣練習・繰り返して練習します。
- 同じ漢字を使うので、馴染みやすいですが、油断は禁物です。
- 日本語と比較し、文法の似ているところと違うところを探して、馴染みにくい点を重点的に練習します。
- 華流ドラマや映画などにふれ、楽しさと感動を覚えると同時に、モチベーションを維持します。

コリア語

朴 炫国
(パク ヒョングク)
国際文化学部 国際文化学科 教授

韓国語は日本語と最も近い言語です。韓国人と日本人はお互いに相手の言語をたやすく早く学ぶことができます。人は生まれたのち、自然に母語を習得してゆきます。母語は会話から学び始めます。しかし、成人して外国語を学ぶ場合は話し言葉と共に、文字を通じて学習します。成人は学習能力が高く、文字は話し言葉を記録することができるからです。

韓国語は、子音と母音から構成されている「ハングル」と呼ばれる学びやすく科学的な文字によって表記されます。韓国語を学ぶ場合はその「ハングル」の母音と子音を習得し、文字の読み方を学習します。「ハングル」が読めるようになると、簡単な挨拶や文章を読み進めながら色々な表現法を習得することが出来ます。その後、それらを学びながら、聞き取り、スピーキング、作文などを繰り返しながら身につけていきます。



うわぁ。どの言語を学んだらいいのか迷いますね。

そうですね。卒業する時には、せめて母語以外の1つの外国語は使えるようになって下さい。卒業して、働しながら外国語を習得するのは大変です。では語学学習は、いつするの？ いまでしょ!!

これで、国際文化学部に入ったら、どんなことができるようになるのか、分かってきましたね。では、どんな4年間、どんな授業を受講していくのでしょうか。まず、1年次生は、基礎的な学修能力の確立とともに、語学力をしっかりと身につけます。そして、2年次生からは2分野7言語コースの中から、自分のコースを選び、専門的な学びを深めます。その後3年次生からは多くの学生がゼミに所属し、問題発見力や問題解決力、プレゼンテーション力を伸ばします。



● ● ● コース紹介

文化理解分野	特色的な科目例 → http://www.world.ryukoku.ac.jp/about/curriculum/culture.html
国際共生コース	グローバルな難題に立ち向かい人類の「共生」に貢献する 想定される進路 国連などの国際機関、環境NGO・NPO、貿易関連企業、多国籍企業、地方公務員 など
芸術・メディアコース	世界の「表現」状況を理解し、自分なりのアートの世界を磨く 想定される進路 各種クリエイター、ジャーナリスト、博物館・文化財職員、編集・印刷関連企業、IT関連企業 など
地域文化コース	世界各国の文化に接し、異文化理解の方法を学び、実践する 想定される進路 航空関連企業、旅行関連企業、商社、多国籍企業、日本語教員、現地語専門家 など
言語分野	特色的な科目例 → http://www.world.ryukoku.ac.jp/about/curriculum/culture.html
英語教育コース	さまざまな立場で英語を教えるプロになる 想定される進路 英語教員、英語通訳、英語翻訳家、英語圏の企業や英語圏に支社を持つ日本企業、その他英語に関わる仕事 など
フランス語研究コース	フランス語圏で生活し、学び、働いてゆくためのフランス語力を修得 想定される進路 フランス語通訳、フランス語翻訳家、ファッション産業、仏語圏の企業や仏語圏に支社を持つ日本企業、その他フランス語に関わる仕事 など
中国語研究コース	文化でも、ビジネスでも、日中の橋渡し役として活躍する人材を育成 想定される進路 中国語通訳、中国語翻訳家、旅行関連企業、中国企業や中国語圏に支社を持つ日本企業、その他中国語に関わる仕事 など
コリア語研究コース	人と文化を理解して、隣国とのコミュニケーション・リーダーになる 想定される進路 コリア語通訳、コリア語翻訳家、音楽・映像関連企業、韓国企業や韓国に支社を持つ日本企業、その他コリア語に関わる仕事 など

プロフェッショナル英語コース(PEC)
(Professional English Course - PEC)

優れたコミュニケーション能力を身につけて、英語を使用する職場で活躍できる学生を育成することを目的とした Certificate Program です。英語教員免許(中学校一種、高等学校一種)を取得することも可能です。

そうだ龍大!
そうや国際や!

●●● 2012年度開講ゼミテーマ一覧

担当者

- 泉 文明
- Cardonnel Sylvain
- 斎藤 文彦
- 佐々木 英昭
- 佐野 東生
- Salz, Jonah
- 史 彤嵐
- 清水 耕介
- 徐 光輝
- 壽崎 かすみ
- 鈴木 滋
- Stein, Barbara R.
- 須藤 護
- 嵩 満也
- Terhune, Noel M
- Chapple, Julian
- 中根 智子
- Bradley, William
- Furmanovsky, Michael
- 朴 炫国
- 古川 秀夫
- Pauline Kent
- 松居 竜五
- 松村 省一
- 八幡 耕一
- 劉 虹

テーマ

- 日本語と日本文化・京都研究
- 日仏間におけるカルチャーショック
- グローバル化と発展途上諸国への開発協力
- 物語と文学——書く／読む／考える
- イスラーム世界の面白さを探る
- 演劇と映画：その理論と実践
- 中国語学、中国語と日本語の対照研究
- セックスと嘘と国際関係
- 東アジアの地域文化研究
- 人間が住み・暮らすための環境を考える
- 自然と人間の間をめぐる人類学
- Teaching English As A Foreign Language
- 民俗文化にみる日本とアジア
- 現代の諸問題と宗教
- Teaching and learning language and culture
- English, Language and Education
- 途上国の貧困と人々の暮らし
- Cultural Anthropology in Education and Media
- Race and the Media in the U.S.A and U.K
- 韓半島の言語と文学、民俗文化
- 国際共生と行動科学
- 多文化が共存する社会の形成と課題：オーストラリア社会研究会
- 文学作品とその映像化
- ことばの習得と教育について
- 社会的コミュニケーションの実践と検証：メディア・リテラシーを鍛える
- 中国文化と中国事情



ゼミは1人の教員と約20名の少人数の学生によって構成され、同じ研究領域を選択した者同士が、報告・討論を通じて学び合うことができます。各自が研究してみたい問題を発見し、必要に応じてフィールドを設定し、調査・分析を行います。この過程を通して問題解決を進める一連の思考方法を養い、学問の深さや面白さを実感できるようになることでしょう。さらに、演習を通じて指導教員や他の学生との人間的交流ができますので、学部学生時代のもっとも収穫の多いものになると思います。



ここで、八幡先生から一言お願いします。

高校と大学での学びの違い

皆さんが突然、親の仕事の都合で転校することになったとします。いろいろな不安が頭をよぎると思いますが、「転校先の授業についていけるかな」という心配はそれほどする必要はありません。なぜなら日本では文部科学省という国の組織が、高校での勉強内容や使用する教科書を均一化しているため、全国どこでも同じような教育内容が展開されているからです。裏返せば高校での学びは、文部科学省が決めた学習指導要領（高校で学ぶべきことが科目別に規定されている）にもとづく「受け身」の学びになります。

ところが大学は事情が異なります。大学には文部科学省が定める学習指導要領はなく、教育は原則として研究者（学者）たる教員個人が責任を持ちます。それゆえ同じ科目名であっても講義の内容、授業のスタイルなどは教員次第で大きく変わります。例えば教科書を使わない教員、板書をしない教員、日本人なのに英語で講義する教員など、まさに十人十色というべき状況が大学では普通です（勿論、大学や学部単位で一定の決まりがあるため、「何でもアリ」の無秩序状態というわけではありませんので安心を）。

正直なところ、学ぶ側からすれば当たり外れがあるかもしれません。しかしながら、実はそれこそが大学での学びともいえるのです。というのも大学で受ける授業は、皆さんが何かを学ぶときの参考に過ぎないからです。中学・高校生を「生徒」と呼びますが、大学生は「学生」と呼びます。学生に求められるのはもはや受け身の「勉強」ではなく、主体的・自発的に進める学び（難しくいえば「研究」です）であり、大学教員はそのサポートをする脇役に過ぎません。大学における学びとは、与えられた知識をただ暗記することではありません。格好よくいえば、何が問題であるかを見極め、その問題解決に必要な資料やデータを探し出す作業から始まり、発見したこと・ものを上手にまとめて文章や口頭で発表し、他者を説得するという知的なプロセスなのです。そこには試験に向けて暗記する辛さとは別次元の苦労がありますが、それゆえの達成感と成長を伴うのが大学での学びです。

龍谷大学国際文化学部では、こうした知的な挑戦を多国籍の教員と一緒にすることが可能です。しかも教員の半数近くがノン・ジャパニーズという環境は、ほかの大学や学部ではなかなか体験できないことなのです。ぜひとも高校とは異なる「大学での学び」を実践し、グローバル時代の地球市民として育ってほしいと思います。



八幡 耕一
(ヤワタ コウイチ)
国際文化学部
国際文化学科 准教授



どんな先生がいるのか気になりますね。

そうですね。では、紹介しましょう。



そうだ龍大だ!
 そうや国際や!

●●● 国際文化学部 教員一覧



教授
泉 文明
 Izumi Fumiaki
 語彙研究 / 文字表記研究 / コミュニケーション論 / 応用言語学



教授
磯江 源
 Isoe Gen
 日本語とインドヨーロッパ語の主題と主語 / 詞音 / 音声学による発音教育



教授
ウルフ スティーブン
 Wolfe Stephen
 英文学



教授
カルドネル シルヴァン
 Cardonnel Sylvain
 西田哲学の西洋解釈 / 日本の「近代」



教授
カルロス マリア レイナルース
 Carlos Maria Reinaruth
 国際労働移動の経済的分析



教授
権 五定
 Kwon O-jung
 韓国におけるナショナリズム教育



教授
斎藤 文彦
 Saito Fumihiko
 アフリカ地域研究 / 国際協力 / 持続可能性



教授
佐々木 英昭
 Sasaki Hideaki
 夏目漱石、特にその理論と創作の相互関係 etc.



教授
佐野 東生
 Sano Tosei
 中東地域研究



教授
サルズ ジョナ
 Salz Jonah
 伝統芸能の国際化 / Samuel Beckettと日本 / 演劇と映画の比較



准教授
史 彤嵐
 Shi Tonglan
 対外国人中国語教育の視点から見た現代中国語の文法



教授
徐 光輝
 Xu Guanghui
 初期国家の形成過程の探索



教授
清水 耕介
 Shimizu Kosuke
 国際関係の変化のプロセスと暴力、文化の関係



准教授
壽崎 かすみ
 Susaki Kasumi
 人にやさしい居住環境計画 / 自然と共生できる都市づくり



准教授
鈴木 滋
 Suzuki Shigeru
 アフリカ大型類人猿ゴリラとチンパンジーの種間関係の生態学的研究 etc.



准教授
スタイン バーバラ
 Stein Barbara R.
 英文学



教授
須藤 護
 Sudo Mamoru
 日本の民俗と東アジア、東南アジアの民俗との比較研究



講師
瀧口 順也
 Takiguti Junya
 ソ連共産党(ボリシェヴィキ)史、国際共産主義運動、正当集会の比較研究



准教授
タヒューン ノエル
 Terhune Noel M.
 英文学



教授
嵩 満也
 Dake Mitsuya
 親鸞の思想形成と本覚思想、仏教と環境思想、浄土真宗の海外開教



准教授
チャブル ジュリアン
 Chapple Julian
 在日外国人の人権と現代日本の社会問題 / ニュージーランドと日本との歴史や交流 etc.



講師
中根 智子
Nakane Tomoko
国際関係学



教授
朴 炫国
Park Hyun Kuk
韓国文学特に韓国口伝文学 / 民俗文化特に伝統的な村の祭りを含めて伝統文化 etc.



教授
久松 英二
Hisamatsu Eiji
キリスト教、仏教、イスラム教の神秘思想の比較研究



准教授
**ファーマノフスキー
マイケル**
Furmanovsky Michael
Popular Music History / Japanese Popular Culture / Contemporary American History etc.



准教授
福山 泰子
Fukuyama Yasuko
アジャクター壁面の研究、東洋美術史(インド美術史)



教授
二葉 晃文
Futaba Terufumi
教育 / 言語学



教授
**ブラドリー
ウィリアム**
Bradley William S.
「リスク」の理論的構築と社会技術問題



教授
古川 秀夫
Furukawa Hideo
サービスラーニングの心理・社会的影響



教授
ポーリン ケント
Pauline Kent
国際文化学部長
ルース・ベネディクト研究



教授
松居 竜五
Matsui Ryugo
日本文化の比較文化的研究



教授
松村 省一
Matsumura Shoichi
Interlanguage pragmatic development / Language testing and assessment etc.



教授
三谷 真澄
Mitani Mazumi
アジアの仏教文化の諸相



准教授
八幡 耕一
Yawata Koichi
メディア研究 / 情報文化論 / 文化政策 / メディア政策



教授
劉 虹
Liu Hong
会話分析 / 社会言語学 / 日中文化比較



教授
脇田 博文
Wakita Hirofumi
EUの多文化・多言語主義と言語教育政策 / 東アジアの言語教育政策 etc.



いろいろな先生がいるんですね。ワクワクしてきました。チョットまって!! いきなりですが、実は留学をしたいと思っています。留学ってできます?

Good Question!
国際文化学部の留学プログラムは素晴らしいですよ。



そうだ龍大!
そうや国際や!

●●● 留学プログラム紹介

交換留学

期間：1年間（19カ国42大学）

- 留学先と龍谷大学の学費が免除^{※1}
- 年間最大3回（第1期～第3期募集）応募のチャンス

こんな人に
オススメ!

龍谷大学が協定を締結している大学に
留学したい!
より高い語学力、専門性を身につけたい!

私費留学

期間：半年間または1年間

- 留学期間中、龍谷大学の学費が免除^{※1}
- 私費留學生奨励奨学金制度（15万円給付）に
応募が可能

こんな人に
オススメ!

自分の興味のある国や大学へ留学したい!
外国語漬けの生活をしてみたい!
自分の力で留学準備をしたい!

短期留学

期間：1ヵ月程度

- 卒業要件単位として単位認定

こんな人に
オススメ!

夏・春休みを利用して留学したい!
語学学習を中心にするよりも、
異文化に触れてみたい!
留学したいけど初めてだから心配…
一人で行くのはちょっと不安…

BIE Program

期間：5週間（春・夏休み）、または半年（前期・後期）

- 語学研修・講義・ボランティアが体験できる
総合的なプログラム
- 現地での成績優秀者には奨学金を授与
（10万円^{※2} × 最大2名 / 30万円^{※3} × 最大2名）
- 龍谷大学の現地オフィス（RUBeC）がサポート

こんな人に
オススメ!

知識だけでなく実体験をする留学がしたい!
龍谷大学オリジナルプログラムで
留学したい!

※1 留学在籍料（半年あたり15万円程度）の納入が必要

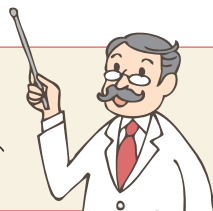
※2 5週間のプログラム（5-week Program）参加者対象

※3 半年間のプログラム（Semester Program）参加者対象

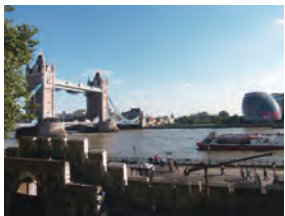
Pick Up!

コース企画 短期留学

国際文化学部のコースによる短期留学も企画されています。
各コースの教員が責任を持って随行します。
文化研修（一部語学研修を含むもの有）として教員が案内してくれるので、
異文化を体験する機会としては絶好のチャンスです。



ロンドン・パリ〈芸術・メディアコース〉



ロンドン芸術大学（University of the Arts London）^{※1}を拠点として利用し、芸術・メディアを学ぶ学生のためにプログラミングされた特別プログラムです。午前中はロンドン芸術大学・語学センターで語学研修。午後は演劇を中心とする英国の歴史・文化・芸術や日本との文化交流などに関する講義。また午後から夕刻、週末を利用して、フィールドトリップ（現地研修・18時間）を行い、本場の芸術活動を目の当たりにすることによってより深い知識習得を目指します。

加えて、ユーロスター^{※2}に乗ってドーヴァー海峡の大陸間トンネルを抜けてパリへ一泊二日の小旅行をし、ルーヴル美術館、オルセー美術館、オペラ座を中心に市内を見学します。



イラン〈地域文化コース〉



まずイランの首都テヘランの日本大使館にて基本的説明を受ける機会を得て、その後、専用バスでイラン中心部の文化遺産の数々を訪問し、引率教員や現地の専門家による実地講義を受けました。中でも、イスファハーン^{※3}のタイル技術の粋を凝らした美しいイスラーム建築や極彩色の絵画、古代ペルシアの栄光を映すペルセポリス^{※3}（世界遺産）の巨柱が林立する宮殿遺

跡などには圧倒されました。
研修の合間にはバーザールでペルシア絨毯や細密画など特産品を買う機会も豊富で、食事もすばらしく、学生にとって充実した研修となりました。



- ※1 英国で最も高い評価を得ている6校のアートカレッジ（芸術大学）の大学連合で、アート・デザイン、コミュニケーション、ファッション、流通、印刷などの分野において欧州最大の規模を誇ります。
- ※2 英仏海峡トンネルを通過してイギリスと大陸ヨーロッパとを結ぶ国際列車。ロンドンとフランスのリール、パリ、およびベルギーのブリュッセルとの間で運行されており、最高速度300km/hの高速鉄道です。
- ※3 イランで3番目に大きい都市で、有名なイマーム・モスクなどがあるイマーム広場は、ユネスコにより世界遺産に登録されています。
- ※4 ペアケメネス朝ペルシア帝国の都。ダレイオス1世がもともと儀式用に建設した宮殿群。紀元前331年、マケドニア王国のアレクサンドロス大王がアケメネス朝を滅ぼしたとき火をかけたため、廃墟に。

そうだ龍大!
そうや国際や!

●●● 留学までの流れ

① 留学出発まで

- ① 留学する目的を決める 出発1年前から情報収集開始
- ② 留学先の国や都市を探す
- ③ 留学先の学校を決める 出発6カ月前
- ④ 龍谷大学へ留学制度の申請 各制度の受付期間要注意!
- ⑤ 留学先学校へ出願 遅くても出発4カ月前
- ⑥ 出発日を決める 出発3カ月前
- ⑦ 滞在先を決める
- ⑧ 留学先学校へ学費の支払い
- ⑨ 留学先学校から入学許可書到着 出発2カ月前
- ⑩ 海外傷害保険に加入 (※義務)
- ⑪ 学生ビザ取得の手続き (※国によって異なる) 出発1カ月前
- ⑫ 航空券の手配
- ⑬ 公的な手続き
- ⑭ クレジットカードや国際キャッシュカードの申し込み
- ⑮ 滞在先の詳細が到着 出発1~3週間前
- ⑯ 持ち物の確認
- ⑰ 留学先へ出発

② 留学する目的を決める

語学留学 (語学を習得したい)

語学習得を第一目的として、海外の大学、または語学学校へ通うスタイルが語学留学です。

【語学学校】
語学力を伸ばすための学校。留学生であれば誰でも入学が可能です。英語圏をはじめ近年では、ヨーロッパ圏やアジア圏などの語学留学の人気も高まっており、世界各国には留学生のための語学学校が多数あります。1週間程度の短期から受け入れてくれるところも多くなっています。

【海外の大学】
大学に付属する語学学校によっては、留学生のための準備コースを用意しているところもあり、大学準備コースをパスできれば、大学の講義を受講できるチャンスもあります。ただし、誰でも参加できるものではないため、高い語学力が必要です。学士号授与権を持つ4年制大学であれば、国際文化学部の私費長期留学制度も利用できる。

海外ボランティアやインターシップ留学

海外の企業や団体へ派遣され実務経験をつめるインターシップや、福祉施設やNPOでボランティア団体へ派遣されるボランティアインターシップなどがあります。なかには、日本語を教える日本語教師のアシスタントとして研修できるプログラムや旅行会社や留学斡旋業者が企画する短期間の海外ボランティア研修などがあります。龍谷大学のBIEプログラムでも海外ボランティアの体験が可能です。

スキルアップ留学 (海外で専門的な分野を学びスキルを上げたい)

語学だけでなく、海外で専門的な分野を学び、資格を習得するなど、仕事で必要とする実践的なスキルや知識習得を目的とした留学です。留学生だけが通う語学学校と違い現地の学生も学んでいます。国によっては、専門学校が教育機関にあり、留学生にも幅広く門戸が開かれており、各大学や短期大学に専門を学ぶカリキュラムが容易されており、留学生が単科で学ぶことが可能な学校もあります。

正規留学 (大学や大学院に進学したい)

専攻したい科目や専門的な授業内容などを求めて海外の学校に進学するスタイル。入学し卒業を目的とします。2年制、4年制大学や専門性の学部にて特化した学校などがあります。誰でも気軽に参加できるものではなく、入学希望者は、各国の教育機関の入学基準を満たす必要があり、書類の手続きも複雑になります。同じ目標を持った学生たちと国際的なキャンパスの中で勉強することができます。

ワーキングホリデー留学

ワーキングホリデー制度とは、二つの国の政府間の協定に基づき実施されているもので、最長1年間滞在し、異なった文化の中で休暇を尾らしみながら、学校に通い、滞在費や旅行資金を補うために現地で付随的に就労を認めるという特別な国の制度です。ワーキングホリデーで海外に渡航するためには、ビザを申請する必要があります。国によってはこの制度が利用できないこともあり、各国大使館のサイトやワーキングホリデー専用サイトに事前に情報収集が必要です。

その他の留学

《体験型留学》 海外でおいこやファームステイ、スポーツや遊びなどのアクティビティ中心の体験を通じて異文化体験を目的とした留学スタイルです。学校に通わず、料理レッスンや、音楽レッスン、ダンスレッスン、サーフィンレッスンなどを受けるプログラムもあり、最短で1週間からの参加可能なプログラムが多い。この留学スタイルは、龍谷大学の留学制度では利用できません。

あなたの留学スタイルは?



③ 行く国を決める

英語圏

アメリカ
カナダ
イギリス
アイルランド
オーストラリア
ニュージーランド
etc.

中国語圏

中国
台湾
etc.

韓国語圏

韓国
etc.

フランス語圏

フランス
カナダ ケベック州
etc.

行きたい留学を一度イメージしてみよう!

イメージすることで選択肢を絞り留学先を決める。どの言語を学びたいか?どの国に行きたいか?行き先を決めるのは難しく悩む『アメリカに行きたい』『イギリスのアートや芸術に興味がある』などかもしれませんが楽しく考えてみましょう。例えば、英語圏であれば、英語を学ぶだけなら大きな違いはありませんが、『大自然に触れたい』など、自分な好きなことから滞在先を絞っていきましょう!興味のある国や、都市で暮らすことで学習意欲も高まり、より良い留学が実現できるでしょう。趣味や歴史、観光など多方面からこの機会に考えてみましょう。

国際文化学部生留学先トップ4!

アメリカ

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校
- 南ミズーリ大学
- カリフォルニア州立大学アーバイン校
カリフォルニア州立大学サンディエゴ校
- サンディエゴ州立大学

アイルランド

- ダブリンシティ大学
- リムリック大学
-
-

韓国

- 東国大学
- 東亜大学
- 慶熙大学
- 延世大学

カナダ

- ブリティッシュコロンビア大学
- ビクトリア大学
- ヨーク大学
- トロント大学

オーストラリア

- クイーンズランド大学
- RMIT大学
- グリフィス大学
- ボンド大学

中国

- 復旦大学
- 大連外国語学院大学
- 北京語言大学 (旧:北京語言文化大学)
- 上海師範大学

イギリス

- ウェストミンスター大学
- リーズメトロポリタン大学
- オックスフォードブルック大学
カンタベリークライストチャーチ大学
- リバプール大学

ニュージーランド

- オークランド大学
- ワイカト大学
- オークランド工科大学
- カンタベリー大学

フランス

- カーン大学
- アンジェカトリック大学
ボワティエ大学
リヨン第3大学
- エクスマルセイユ第3大学
- トゥールスカトリック学院

④ 通う学校を決める

決め手になる 4つのポイント

立地

大都市や田舎など、学校の場所に注目! 便利で賑やかな場所がいいか、のんびりした田舎がいいか、どんな環境で勉強したいか考えてみましょう。

タイプ

語学学校を大まかに分けると、大学のキャンパス内、街中のビルの中にある学校や孤立した建物で開講する学校のタイプが存在します。大学のキャンパス内であれば、大学の施設を利用できることも多いです。

規模

数十人~数百人で規模はさまざま。規模の大きい学校は、歴史が深い学校も多く、カリキュラムが充実しており、プログラムの選択史が多い傾向にあります。しかし、こじんまりとアットホームを好むなら小規模の学校です。とは言っても1クラスの数に注目。

学費

学校によって学費が異なります。学費がどのくらい違うか計算してみましょう。



入学したら、お昼休みに様々な留学説明会が1ヶ月以上開催されます。
そこで、どんな留学があって、どんな先輩がいるのかを知ることができますよ。



いいですねー。留学しなくなっちゃいました!
でも、将来は何になりたいのか、まったく決めてないのです。
どうしたらいいでしょう。



もちろん、今、将来の夢や道を決める必要はありません。あるならば、それもいいですが、途中で変更する可能性があることを覚えておいて下さい。
でも、どんな卒業生がいるのか、少しだけ紹介しましょう。

「自分の好き」に出会うため、
いろいろなところに足を運んでみよう。

Aさん 2000年3月卒業
勤務先: エマニュエル・カレッジ (オーストラリア)

オーストラリアへの語学留学を契機に、卒業後シドニーの大学院で教育学修士を取得。現在、中高一貫のカトリック・スクールで日本語教師をしています。第二言語教育に力を注ぐオーストラリア。異文化を受容する姿勢、彼ら自身の文化や習慣への認識を深めるために、使える日本語と日本文化を教えてください。学生時代は個性豊かでアクティブな友人たちや留学生、先生方と積極的に交流する中で、語学や異文化理解はもとより、日本文化や言語、宗教への理解を深めることができました。「自分の好き」に出会い、一生懸命努力したことが今に繋がっています。

大学での身近な国際環境が、
海外との商談に役立っています。

Dさん 2007年3月卒業
勤務先: 株式会社鶴見製作所 国際営業部

コメント: 海外の代理店や海外向けの会社に水中ポンプや関連機器などの営業をおこなっています。物怖じせず海外のお客様と交渉できるのは、大学の課外活動で留学生のサポートなどをしており、身近に外国人がいたからです。勉強のことだけでなく、普段から何でも教員や職員に相談にのっていただき、助かりました。

課外活動での経験が、
今の自分に生きています。

Bさん 2003年3月卒業
勤務先: 株式会社JTB西日本

企業向けセールスプロモーションの企画提案や、新規ビジネス開発、企業・NPOなどのイベント運営を担当しています。大学時代に培ったもので現在の職務に役立っているのは、国際文化学部で学んだ異文化理解とコミュニケーションの重要性はもちろん課外活動を通じて得たチーム(グループ)ワークの重要性への理解とグループマネジメント術。大学は努力次第で、何でも実現できるチャンスがあります。

2度の海外留学。
韓国文化との出会いが私を変えた。

Eさん 2007年3月卒業
勤務先: 三晃製砥株式会社

交換留学生として韓国の東国大学へ。帰国後、ワーキングホリデーを使って1年間、韓国のIT企業で通訳の仕事も経験しました。おかげで、国際文化理解や国際社会における日本を知ることができたと思います。現在は、経理・貿易・韓国語通訳などの仕事をしています。将来は自分で商社を設立したいと考えています。

ポジティブな姿勢と創意工夫の精神は、
現在の仕事に活きています。

Cさん 2005年3月卒業
勤務先: 在エチオピア日本大使館 草の根委員(エチオピア)

高校時代のカナダ留学で疑問を持った、貧富の格差、民族紛争をさまざまな視点から考えてみたいと思ったのが龍谷大学国際文化学部を志望した理由です。移民受入に力を入れるスウェーデンへの交換留学では、「開発のあり方」を教育的見地から考えました。小学校にさえ通えない子どもがいる途上国に身を置くと、勉強できることがいかに貴重な体験がわかります。現在、外務省「草の根人間の安全保障無償資金協力」の外部委員としてインフラ整備や啓蒙活動などの実施管理をおこなっています。「ひとつの出会いや経験は、新たな可能性を拓くチャンスになる」——これが私から皆さんに贈る言葉です。

“人と接する仕事” “海外に行ける会社”
という2つのキーワードを実現。

Fさん 2009年3月卒業
勤務先: 中部国際空港旅客サービス株式会社

入学前は人と接するのが苦手だった私。それを克服するために接客業のアルバイトを始めたのですが、楽しいと思えるまでになりました。そこで2年生の時、3カ月間のカナダ留学にチャレンジ。国や文化の違いを越えて、いろいろな国の人と仲良くなることができたうえ、英語も自然と身につけることができたのは大きな収穫でした。目下の目標は、中部国際空港内にある免税店のバイヤーになること。年に4,5回は海外出張があるので、留学で培った語学力やコミュニケーション能力を活かしていきたいです。



なんとなく、国際文化学部が分かってきた気がします。
でも、結局、国際文化学部って何なのですか？

またまた、いい質問ですね。
では、二人の先生に説明してもらいましょう。



国際文化学部は新しい時代の実学の場

グローバル化の進行により価値観が大きく変動しつつある現代社会に対応するためには、これまでの枠組みにとらわれない新しい研究と教育へのチャレンジが必要です。国際文化学部は、他の学部比べて「実学」的な面が少ないような印象を受ける人がいるかもしれませんが、それは違います。多様な文化交流がキャンパス内でおこなわれている国際文化学部こそ、新しい時代の企業や社会が求める実践的な能力を身につけられるところなのです。

国際文化ってなに？

結局のところ、“国際文化”は国際関係とはどう違うのでしょうか。また、国際文化学部は外国語学部や国際学部とどう違うのでしょうか。

一般的には国際関係や国際学は主として国と国の関係、すなわち戦争や外交、経済的な繋がりなどを学ぶものです。これに対して、国際文化は人と人の交流や文化と文化の関係を学ぶと考えられます。もちろん、人と人の繋がりを学ぶためには、様々な言語を学ぶ必要があります。その意味で、外国語学部で学ぶことと似ているのですが、その目的が異なると言えるでしょう。つまり、多くの外国語学部では様々な言語を学ぶことが主たる目的ですが、国際文化学部では様々な言語で異文化を学ぶことが目的となるのです。このように国際文化は難しく聞こえますが、重要なことは実際にいろいろな人と出会うことです。そこに文化と文化の交わり、すなわち国際文化が存在するのですから。



松居 竜五
(マツイ リュウゴ)
国際文化学部
国際文化学科 教授



清水 耕介
(シミズ コウスケ)
国際文化学部
国際文化学科 教授



最後に、2011年度に国際文化学部は15年目を迎えました。
そこで学部長と教務課長に、学部に対する熱い想いを語ってもらい、
卒業生と在學生に国際文化学部の魅力について語り合ってもらいました。
みなさんはこれから自分の進路を選ぶこととなりますが、どのような道であれ、
多くの人達との出会いを大切に、楽しい人生を歩んでいって下さい。では。

そうだ龍大!
そうや国際や!

対
談

ケント学部長×北條教務課長



新しい時代の“国際人”が育つ場所

—国際文化学部の15年—

緑豊かな瀬田キャンパスに、国際文化学部が誕生して、2011年度で15年。
設立からの歩みと、時代の変化に合わせたあり方、そしてここで学ぶことの意味……
学生をこよなく愛するポーリン・ケント学部長と北條英明教務課長のふたりに、思いを語ってもらった。

「多様性」に満ちた学部をめざして

ケント 国際文化学部の設立時というと、私がまず思い出すのは、比嘉先生のことですね。英語の先生だったんですけど。

北條 初代学部長の比嘉正範先生のことですね。

ケント そう。国際交流にたいへん熱心な方でした。比嘉先生は沖縄戦で片腕を失われたのですが、米軍で治療を受け、終戦後は米国に渡って教育を受けられたそうです。その感謝の気持ちもあるのでしょうか、先生は、国際交流とは「自分の体験」から生まれるものだと。本学部設立にあたっては「とにかくいろいろな体験ができる“多様性”に満ち

た学部をつくりたい」とおっしゃっていました。日本は1970年代までは経済発展ばかりめざしていましたが、80年代になって「あれ？文化は？」となり、その頃から“国際化”が盛んに言われるようになったんですね。さらに龍谷大学は仏教の大学です。宗教と国際化は切り離せない、そんな大学としてのバックグラウンドもありました。

北條 比嘉先生の思いと時代の流れ、そして大学の理念が合致したんですね。瀬田キャンパスは20年前、社会学部と理工学部からスタートしましたが、三つ目の学部として「国際」は、一つのキーワードだった。この学部をつくることで大学自体も変えていく……そんな大きな夢があったようです。

「言語+文化」をセットで。 進化するカリキュラム

ケント 具体的なカリキュラムについて、語学は英語・フランス語・中国語・コリア語の4か国語を柱に。さらにその周りを取り巻く“文化”をセットで学べるようにしたのが特徴です。それまで国際学や国際関係を学ぶ大学はありましたが、「文化」に注目したのは日本初だったんです。

北條 当初は日本文化・アジア文化・欧米文化とコース分けされていましたね。いわゆる“比較文化”。自分の文化と他を比較する、それを自分の言葉で、そして外国の言葉で表現する、そして調査・分析のためのコンピュータ技術を身に付ける……そんなカリキュラムが組まれていました。

ケント またこれを指導するのも日本人だけでは意味がないと、あらゆる外国籍の人や、日本人でもバイリンガル、バイカルチュラルな人を多く採用することにしました。世界中に広く公募をかけ2年がかりでセレクト。約1200人以上の応募があったそうです。

北條 すごいですよね。こうして国際文化学部がスタートしたんですが、その数年後の2001年に、カリキュラム改革があった。学生がもっと幅広く学べるようにしようと、当初の3つのコース分けが廃止になりました。

ケント この学部には「これを専門的に学びたい」というよりは、「まずいろいろやってみたい」という学生が多かったから、学べる幅に限られるコース分けに不満が出たようです。職業に対する考え方など、社会そのものが変化し、学生のニーズも変わってきたのだと思います。

北條 2002年には、いわゆる「英語のプロ」を育てるプロフェッショナル英語コース (Professional English Course=略称PEC) ができましたね。

ケント 本学部がスタートしたときは、言葉がしゃべれること+コンピュータが使えること、が大きな目的だったんですけど、今はそれは当たり前ですよ。では次に何をやるか?そこでできたのがPECで、最初から最後まで英語で授業を受けられるというコース。そのシステムも学生のニーズに合わせて進化しています。

親孝行にもなる!? 留学はメリットの宝

ケント 今の学生は積極的じゃないっていわれているけど、それは違う。彼らは、グローバルにいろんな観点からものを見たり、答えを求めたりしないと、新しい社会で生きていけないことがわかっていると思います。その点、この学部が設立当初から留学に力を入れていたのは、大きなポイントです。留学すれば、いろいろな体験ができ、今まで見えなかったものが見えてきますからね。

北條 留学制度も少しずつ充実してきましたね。学部開設時ネイティブの先生をたくさん採用したと同時に、世界の留学生を誘致しよう、そして日本の学生はできるだけ海外へ留学させよう……というのが学部の方針でした。この頃、私は深草キャンパスの国際課にいましたが、外から見ても国際文化学部にはポテンシャルを感じていました。

ケント 北條さんは2002年に本学部に来られましたね。

北條 縁あってお世話になることに。ここに来てまず取り組んだのは「留学する学生数を増やそう」でした。いろいろな学生の相談にのって、2004年には留学生数全国4位まで増やしたんです。でもそのうち、「行かなくてもよい人間まで、行かせてたんじゃないか」と思うように。学生の背中を“押して”あげるのではなく、背中を“蹴って”感じ(笑)。そこで「行く前よりも、留学から帰ってからのサポートを大切にしよう」と、少し考え方をシフトしました。2004年「語学・留学サポートデスク」を設置、担当スタッフにおいて、留学前はもちろん、留学後のフォローまで幅広く対応しています。

Pauline Kent

ポーリン・ケント

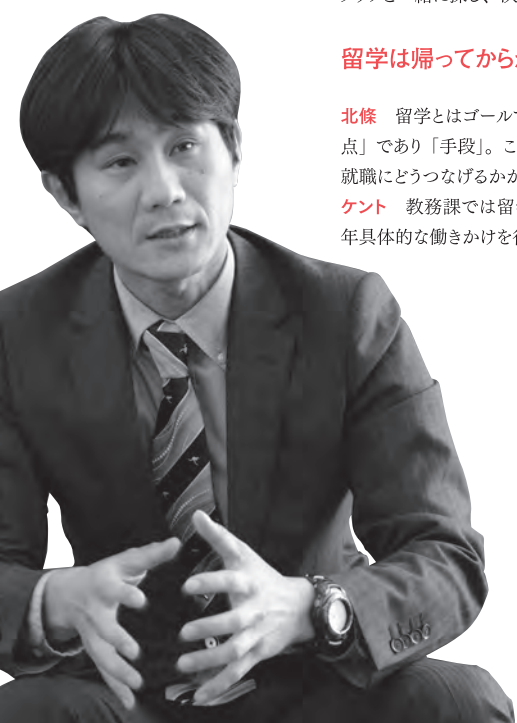
オーストラリア出身。高校3年時の交換留学がきっかけで来日。専門は社会学で、主な研究テーマは「菊と刀」で知られる文化人類学者ルース・ベネディクト。国際文化学部には1996年着任、2010年より学部長。温かい話しぶりとは「関西人」的なノリの良さが人気。

言語とセットで文化を
—— 当時は画期的でした



そうだ龍大!
そうや国際や!

つながり意識する
これが国際理解の第一歩



ケント 本学部の留学システムは、他の大学と比べても本当に手厚いですね。

北條 ハードとソフトの両面が充実しています。ハードとは、お金と時間のサポート。交換留学の場合は、龍谷大学でも留学先の大学でも、授業料が免除になります。行き先によっては奨学金がもらえたり、宿舍代が免除されることもある。日本に4年ずっといるより留学したほうが安くあがることも。我々は“親孝行制度”と呼んでいます(笑)。

ケント 私費留学でも、当大学の授業料は免除されます。もちろん留学先で取った単位は本学で認定されるので、単位も4年で取ることができます。

北條 一方ソフトとは、先ほどの「語学・留学サポートデスク」によるサポートです。特に私費留学となると、選択肢が多すぎて行き先を選べないという学生もよくいるのですが、デスクで相談やカウンセリングを行い、海外経験のあるスタッフと一緒に探し、決められるのが魅力ですね。

留学は帰ってからが「勝負」

北條 留学とはゴールではなく、自分の目的への「中間地点」であり「手段」。この体験を学生自身の今後の勉強や就職にどうつなげるかが課題です。

ケント 教務課では留学後のサポートとして、特にここ数年具体的な働きかけを行っていますね。

Hideaki Hojo

北條英明

京都府出身。龍谷大学国際課に7年勤務、そのうち国際文化学部教務課に移って2011年度で10年目。学生のサポートに教務課の先頭を切って尽力、また学生と教員の架け橋として日々エネルギーに奔走している。マイ・テーマは“キャブ”。好きな言葉は“青空”。

北條 はい。大きく三つありまして、一つ目は本学部に来ている留学生との交流の場を、二つ目は留学した者同士との交流の場を提供することです。これは「せっかく身についた外国語を日本では使う機会がない」という学生が集まって、自分が行ってきた国について、英語でディスカッションする場です。議論を通じて自分が訪れた国以外の文化も知ることができます。三つ目は、勉強したことを教え合うTOEICの勉強会。この3点に関して我々職員はあくまでもオブザーバーで、学生自らの運営による参加型スタイルです。それから、留学した学生に、今後留学したい学生に向けて、自分の体験を語ってもらう説明会も開催しています。これも学生自身の発案で始まったものですが、この活動をきっかけに、学生同士のつながりも生まれていますね。

ケント そんな積み重ねからでしょうか、本学部には自分のやってきたことを英語で語れたり、その後の人生に英語を生かしている子が多いですね。

北條 卒論を英語で書く学生とかね。

ケント そういう意味では、ここは最先端です!

キャッチフレーズは「T・N・G」

ケント 留学以外でも、ここにはネイティブの先生がたくさんおられるから、教室にいながらにしてその国の人の観点から世界を知ることができます。

北條 いろんな国の先生や留学生と接したり、いろんな国に自分が行ったり友だちがいたりすると、世界の動きに敏感になりますよね。ふつう外国で起こっていることは、よそ事のように思いがちですが、世界の動きを自分のこととして捉えるようになるのが、この学部のいいところです。

ケント 留学した先の友だちが亡くなったことを知り、そのご両親に英語で手紙を書いた学生がいました。国際交流って、こうした相手の立場に立って考え、そこから自然に出てくる気持ちや行動じゃないでしょうか。

北條 結局個人とのつながりなんですよね。すべてがわからなくても、日本のことを含め、自分を相手に伝えようとする努力や、相手を理解しようという姿勢が、この15年で築

かれてきた気がします。僕は常々、国際文化部のキャッチフレーズを考えているんですよ。それで現在のキャッチフレーズは「T・N・G」。まあ、「Tu・Na・Gu=つ・な・ぐ」なんですけど(笑)。

ケント たしかに、今よく言われるグローバル化って、まずは自分と世界がどれだけつながっているかを認識すること。それを学生に教育するのが、この学部の目的です。

北條 さらに今年とはくに、彼らがいろんな“つながり”に気づいた年。東北で地震があった後「なんでこの値段が高くなるんやろ?」とか「なぜこの国はこんなに援助してくれるんやろ?」って。それは過去に経済面や精神面で様々なつながりがあったから。ここの学生には、自分はつながりのなかで生きているということ意識してほしいんです。

人生を積極的に生きる卒業生たち

ケント 今、日本社会はかつての「終身雇用」という考え方が薄れてきています。学生もそこはよくわかっていて、まずどこか会社に入って経験を積んで、それから英語を生かす別の職に就くという考えの子が多いですね。

北條 本学部の卒業生はほとんどが留学を経験していますから、語学はもちろん、4年間のいろいろな経験を通じて培った自信みたいなものがある。だから本当によく転職する。しかも学部長のおっしゃる通り「前向きな転職」。

ケント 適応性があるからでしょうね。私のゼミにすごく英語の得意な学生がいて金融会社に入ったのですけれど、この間会ったら「転職してリハビリの先生になりました」って。びっくりしたんですが、大学で身につけた英語力は外国の論文を読むのにとっても役立っているそうです。

北條 本当に軽やかにジャンルを変えますね。お父さんお母さん世代から見ると危なっかしく映るかもしれないけれど、彼らは広い視野で自分の成長を意識している。だから、そういう風に生きること違和感がないんだろうな。

ケント その人も「しんどいけど、楽しい!」なんですって。頼もしいです。

大学は安心して“失敗”する場所

北條 学生たちに、ケント先生から伝えたいメッセージって何ですか?

ケント “Challenge!” 国際文化学部は、多様性に満ちています。また安心して個性を出せる場所、いろんな意味でのコミュニケーションの場所でもあります。自由なアイデアを発揮するとか、「こんなこと言って大丈夫かな」と思うことも口に出してみるとか……自信をもってやりたいことに挑戦し、やり抜いてほしいです。

北條 失敗も大いにあり、ですからね。

ケント そうそう、私たちの仕事は、変な話、どこで失敗させるか(笑)。

北條 できれば早い時期に、ガツンと(笑)。失敗はチャンスとして若いうちに経験しておくべきです。あとで思い出すと、失敗が失敗じゃなかったことがよくあります。それができるのが大学というところですよ。

ケント それと“Curiosity”……好奇心をもつことも大切です。昔、1年生の学生に言ったんですよ。『今、あなたたちに一番大切なものは……ワッ!』(突然大声を出す)。

北條 先生～!! びっくりしますよ。

ケント ごめんなさい。でも、これなんです。「何だろう」「何かな」と自分で一生懸命考える気持ちが出発点なんです。好奇心旺盛に他の文化とぶつかっていくことが、国際文化理解には大切なことですから。北條さんからは?

北條 私は卒業生を送り出すときはいつも、“You're my hope. = 君たちは僕の希望の星”と言っています。卒業後の学生たちの活躍や頑張りを、人づてで聞くのが何よりうれしいです。それが僕たちのエネルギーにもなっている。

ケント 本当に、いい言葉ですね。

北條 でも、やっぱりへこんだり落ち込んだりすることもある。そんなときは、いつでも元気をもらいに大学に足を運んでほしい。帰ってくる場所はあるから、臆さず頑張れ……そう言いたいですね。大学は社会に出る前の最後の場所であり、一つの「ふるさと」ですから。



(上) 語学・留学サポートデスク。学生は各国の街や大学について情報を得ながら、専門スタッフに相談できる
(下) 3号館地階の留学生ラウンジ。短期から長期まで多彩な留学情報がここで手に入る

そうだ龍大!
そうや国際や!

座談会 在學生 × 卒業生

国際文化学部の魅力ってなに? 学んだことをどう生かす?



なかむら ゆり
中村百合さん
2000年卒業
1期生

在学中はオーストラリアへ1年間留学。2010年秋まで華津市国際交流協会に勤務し、出産を経て2012年春より小学校教諭に。



なかむら たくろう
中村拓郎さん
2007年卒業
8期生

在学中はカナダに半年留学。神戸でフリーペーパー制作の後、現在は滋賀の出版社「サンライズ出版」に勤務。



かきとう
笠藤ゆかりさん
2008年卒業
9期生

在学中はカナダへ1年間留学。旅行会社の営業職を経て、2011年春より龍谷大学国際文化学部教務課職員に。

国際文化学部にバックグラウンドに、いきいきと活躍する人たちがいる。1期生から13期生まで、世代を超えて在學生と卒業生が、学部の魅力とここで得たスピリットについて語り合った。

※この座談会は2011年秋に開催されました。

——様々な経緯で国際文化学部に来た皆さん、まず感じたことは?

池上 僕は英語のプロをつくるコース・PEC (Professional English Course) に引かれて来ましたが、外国人の教授が多く、国際色豊かなのに驚きました。先生がすごくサポートしてくれるし、学生との距離が近い。ゼミ生も皆意識が高く、いい仲間もてたなと思います。学部では政治、

経済、国際関係、芸術といろいろな科目があって、自分が取り組みたいテーマと別の分野を同時進行で学べるのにも魅力を感じています。

中村百 よくわかります。私のときも「日本の国際協力」という講義で国際協力や南北格差について学び、一方「NGO論」で実際にNGO (非政府組織) を立ち上げ活動する人たちの存在を知って。自分の関心事に次々と他のことがリンクする。私

は1期生で異文化・多文化を学ぼうと思って入学しましたが、知的好奇心をくすぐられる守備範囲の広い学部ですね。

焼山 私はいろんなことを勉強したうえで将来を考えたくて専門学校ではなく大学を選びました。国際文化学部は、いろんな見方ができるところがいいですね。

ソケ 僕は学部に入った当初にはいい思い出がありません(笑)。というのは、留学生でどうしても日本の文化に慣れなくて。でも3回生で大学図書館のアルバイトを始めたら日本人の友達がいっぱいできて。各文化がもつ意味はそこに属するグループ以外の人にはわからない、でもその「違い」を理解したらいいと気づくと、大学生活が楽しくなりました。修士課程の同級生は個性的な人が多く、研究テーマも国際関係、芸術、





やきやまよしこ
焼山欣子さん
 2012年卒業
 13期生

専攻は「国際共生」「地域文化」。イギリスに1年間留学したのち、留学支援の学生団体「LINK」を立ち上げ、活動中。



いけのみむねなか
池上宗伸さん
 2009年入学
 4期生

専攻は「国際共生」「芸術メディア」。オーストラリアに1年間留学後、留学帰国後の学生を集めてTOEIC勉強会を開催。



ソケ
ケムバンディットさん
 2005年入学
 博士後期課程2年

2003年よりカンボジアから留学。2009年大学院国際文化学専攻に進学。研究テーマは「カンボジアと日本の性の構造」。

民族と様々。たしかにリンクが多くて面白い学部です。入ってよかった。

中村拓 今日ここにいる人は皆さん志が高いと思います。でも、つまみ食いの授業を受け、何を得たかわからないまま卒業する人も結構いる。僕もどちらかと言うとそうだったのですが、学校は大好きでした。4回生では就職活動でゼミを休む人もいますが、僕は皆勤賞。ゼミ生の刺激が魅力で、「この子にはかなわへん」と思ったり、いろんな感性や価値観に触れて吸収するのが大事だと思って。

——社会に出てから、ここでの経験が役立ったことはありますか？

中村拓 具体的にはよくわかりませんが、今、前に進めるのはここで勉強したおかげかなと思います。学

校が大好きで、もっとよくしたいと先生と話したり、卒業生にアンケートをとったり。卒業後は「地域を元気に」という主旨の神戸のフリーペーパーづくりにまず携わって、今は滋賀の本を出す出版社で大好きな滋賀の魅力を伝えようと試行錯誤しています。自分のコミュニティへの愛をどう発展させ、活性化させるかという意味ではつながってますね。

笠藤 国際文化学部では教職員と学生の距離が近いと言われますが、その理由の一つは教務課にある「語学・留学サポートデスク」の存在ではないでしょうか。学生が何でも相談できる場所で、職員が困っている人のサポートをする。私も学生のとき最初は消極的に「私でも留学できますか」と相談したら、「行けるよ」と背中を押してもらって。今私は、教務課で働いています。「語学はでき

ないけど頑張りたい」という学生の気持ちがわかるのは自分の長所だと思って戻ってきました。

池上 教務課は居心地がいいですよ。行ったら1時間くらいいます(笑)。

焼山 私も。「またいるの？ 住んでるね」って言われる(笑)。よく行くようになったのは、留学後ですけど。

——皆さん、留学経験がありますが、実際行ってどうでしたか？

中村百 留学は子どものころからの夢でした。でもいざ大学の講義が始まると何を言っているか全くわからなかったんです。現地の英語学校でも、出発前も一生懸命勉強したのに……。冷や汗が流れ、鳥肌が立ちました。毎回タウンページのように分厚い教科書を20～30ペー

好奇心の幅を広げる「リンク」が多い学部

ジ予習し、課題もいっぱい。だんだん気持ちも塞いできて「人生でこんなにしんどいことはない。帰りたい」と、泣きながら日本に電話していました。でも机にかじりついて勉強を続けたら納得のいく成績がとれた。その時の友達とは十数年來のつきあいですし、大変な経験を乗り越えたからこそ自信になりました。

ソケ 私も似たようなことがありました。学部の最初の授業「平和学入門」では教室の一番前に座ったんですが、講義中は本当に、何もわかりませんでした。正直言うと、この日帰って泣きました。その後も「帰りたい、帰りたい」と何度も思っただけでも友達や先生、皆の支えでこまで来られました。

焼山 私は新しく提携した大学で募

集が出たのをたまたま見て。もともと留学のイメージがなかっただけにショックはなかったんですが、何を言ってるかさっぱりわからない。でもやるしかない!と思って頑張るうちに、いい人たちとも出会えて。おかげで、何でもやったらやっただけの成果は出る、「しんどい」「無理だ」と決めつけてやめるより、興味をもったらやっただ方がいいと思うようになりました。で、帰国すると、私は単位が史上最少の認定数で(笑)。それで同じ時期に留学した人やゼミの先生、教務課の職員の方に相談して、単位認定の仕方を変えてもらったんです。アジア圏は授業数が多いので単位が取りやすいけれど、欧米圏は授業数が少ない代わりに課題が多い。その辺りで差が出るこ

とが、学生同士集まってわかりました。これがきっかけで、これから留学したいと思っている人たちを学生目線で支援する学生団体「LINK」をつくったんです。活動を通じて、自分たちの経験の整理になればいいなとも思っています。教務課に机と椅子をおいて、相談期間には曜日ごとの担当者がいるようにしています。

中村百 教務課の手厚いサポートのうえに学生からも! ダブルのサポートなんて、すごいですね。

——意欲的な活動をしている方が多いですね。将来の夢は?

池上 僕の夢は国連職員になること。対立している国の人たちをつなぐことが、最終的な夢です。留学中20カ国以上の人に会えて、なかには初めて日本人と接する人もいました。その人にとって僕が「日本人」の印象になり、喋るだけで一つの小さな外交になる。そう考えると、仲の悪い国同士でも一市民単位から



異文化理解の姿勢が実社会でも鍵になる

なら案外簡単に仲良くなれるのではと。帰国後は留学経験者をつなぐ英語の勉強会を作り、留学生との交流会も開いています。

焼山 今4回生ですが、就職活動はしていません。取得単位数が少なかつたし、学生ボランティアに力を入れたかつたのもあるんですが。これまでも一つひとつ目の前のことに取り組んでいたなら自然に次のことが見えてきた。だから今すべきことを一生懸命やるべきだと。とりあえず次は英語と中国語を学びにシンガポールに行きたいと思っています。

ソケ 僕の研究テーマは性別に関しても、修士課程では性同一性障害に関するカンボジアの現状を調べていました。帰国後の目標は、非政府機関を作ること。カンボジアには性的マイノリティーが14万人いますが、伝統的な社会だけに男女間で家族を作るという規範から外れると差別に遭ってしまう。彼らの少しでもプラスになるよう頑張りたい。一番言いたいのは、認め合うことで素敵な世の中になるのでは、ということです。

中村拓 さまざまな価値観を認め、互いを理解し合うことは大事ですね。カナダの語学学校では、同級生に韓国人や中国人がいて皆つたない英語で話すなか、それぞれの国や文化をわかってもらう努力が大切だと感じました。韓国の男子の子は

兵役で愛国心が芽生えたそうで「国のため、好きな人や家族を守るためなら死ぬ」と言っていました。意識の差に驚きましたが、自分に置き換えてみたらどうかと考えさせられました。英語は今もあまり喋れませんが、留学で視野が広がったのは大きいですね。

笠藤 私もカナダ留学を含めた4年間で異文化理解の重要性がわかり、異文化への前向きな姿勢ができたと思っています。社会人になれば時には嫌いな人とも一緒に、やりたくないこともしなければいけない。そうするとき異文化理解の考えが役に立つ。異文化は国と国だけではなく、人と人にもある。それをどう受け入れ、理解して糧とするかを学んだことが役立っていると思います。

——最後に。先輩から後輩にとくに伝えたいことを聞かせてください。

中村百 私は2010年秋まで草津市国際交流協会で働いていましたが、実は滋賀県には外国人がとても多いんです。ブラジル、ペルー、韓国、中国から来ている人がたくさん、日本語ができなくて困っている人もたくさんいます。国外での国際交流も大事ですが、地域の多文化共生を促す取り組みにも目を向けてもらえたら。文化にステレオタイプはなく、一人ひとりと触れ合って交流を重ね



ていく。それにはコミュニケーション能力や人を大切にする姿勢が大切です。そう考えると国際文化学部での勉強や留学経験が、私の今につながっていますね。

笠藤 社会人になると時間がなく、不自由なことが増えますが、学生は何でもできる。学生のパワーはすごいので——いろんな所で行動できるし、友達のつながりも出会いもあるし——自分のモチベーションや経験を、ほかのたくさんの人に伝えて背中を押してほしいですね。

中村拓 僕の友達に離職率が高くて、7割くらいが1回目の仕事を辞めている。でも、それでいいと僕は思っています。まず自分が好きなことに集中し、それを突き詰めて見えるものが仕事や自分の将来像につながる。ここはそういった可能性をもった学部だと思います。興味をもったことにどんどん手を付けていけば、一つにつながるときが必ず来ます。

池上 みんな国際文化学部が大好きですね。一人ひとりを大事にし、誰もが主人公になれる学部だと今日の話聞いて改めて思いました。



そだ龍大!
そうや国際や!

Q **キャンパス見学は
できますか?
過去問題はどのように
入手できますか?**

土日・祝祭日以外は原則的に見学できますが、必ず事前に国際文化学部教務課へ電話等で確認してください。見学する場合、国際文化学部教務課(瀬田キャンパス 3号館1階)までお越しください。資料をお渡ししたり、ご質問にお答えします。
なお、オープンキャンパス(参加申込不要・入退場自由)に参加していただくと、本学教員がおこなう模擬講義や在学生の話聞くことができます。

	開催日	対象
瀬田 キャンパス	7月22日(日) 10:00~16:00	国際文化学部 理工学部 社会学部
	8月25日(土) 10:00~16:00	
深草 キャンパス	8月 6日(月) 10:00~16:00	全学部
	8月 7日(火) 10:00~16:00	
	9月30日(日) 10:00~16:00	
大宮 キャンパス	6月17日(日) 10:00~16:00	文学部

■過去問題請求先及びキャンパス見学連絡先

- 過去問題請求先** 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学入試部
TEL:075-645-7887 FAX:075-645-4155 <http://www.ryukoku.ac.jp/admission/>
- キャンパス見学連絡先** 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学国際文化学部教務課
TEL:077-543-7670 FAX:077-543-7674 <http://www.world.ryukoku.ac.jp/index.php>

Q **出願するにあたり
年齢制限はありますか?**

入学時に18歳以上であれば、年齢制限はありません。いずれの入学試験においても年齢はもちろん、性別、出身地、出身学校等の区別なく、全く同じ条件のもとで選抜をおこなっています。出願に必要な要件に関しましては、各種入試要項をご確認ください。

Q **募集要項の発表時期は
いつですか?**

入試要項の種別	公開時期(予定)	入試要項の種別	公開時期(予定)
公募推薦入試・一般入試・センター利用入試	6月	外国人留学生	4月下旬
編転入	5月中旬		4月入学
伝道者推薦	6月下旬	帰国生徒特別	9月入学
スポーツ活動選抜／文化・芸術・社会活動選抜	7月上旬		4月入学
		中国引揚者等子女特別	7月上旬

請求・照会先 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学入試部 TEL:075-645-7887 FAX:075-645-4155

Q **学生生活支援は?**

学生教育研究災害傷害保険

学生が正課中、学校主催行事中、校内での休憩中または課外活動中において、不慮の災害事故により傷害を受けた場合の補償救済制度です。

生活協同組合

学生及び教職員の大多数が組合員となって組織・運営されている生活協同組合があります。書籍、日常生活用品を取り扱う購買部や、食堂、喫茶などを運営しています。また、下宿・アパートについて学生生活に適した部屋を紹介しています。

学生寮

本学には、一般学生向けには学生寮はありません。留学生向けには5地区(京都4地区・滋賀1地区)に学生寮があります。経費等の詳細については、以下のURLから確認してください。

URL : <http://intl.ryukoku.ac.jp/dormitory/index.html>

Q 学費は？

入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。毎年2期（前期：4月、後期：9月）に分けて徴収します。

■国際文化学部

年次	入学金	授業料	施設費	入学金	合計
1年次	200,000円	731,000円	50,000円	34,000円	1,015,000円
2・3年次	—	731,000円	250,000円	14,500円	995,500円
4年次	—	731,000円	250,000円	44,000円	1,025,500円

Q 募集人員は？

■平成24年度国際文化学部募集人員

入学定員	一般入試・センター利用入試						推薦入試			特別入試	
	A日程	B日程	C日程	前期	中期	後期	公募推薦		専 門 高 校 等 対 象	そ の 他	外国 留 学 生 ・ 帰 国 生 徒 特 別 生 等
							(2教科)	(英語型)			
450名	100名	70名	10名	25名	13名	3名	62名	20名	5名	112名	30名

Q. 男子学生と女子学生の割合はどの程度でしょうか。

A：学年によって多少の違いはありますが、男女比3：7程度で女子学生の比率が高めです。

Q. 入学科・授業料免除、奨学金制度について教えてください。

A：学業成績が優秀であり、経済的な理由で学業の継続が困難な学生のために、一定の基準を満たしている場合に、入学科・授業料免除制度があります。奨学金には、大きく分けて貸与奨学金（卒業後返還）と給付奨学金（返還不要）の2種類の奨学金があります。詳細は龍谷大学ホームページの「奨学金・学費について」（http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/expense/loan.html）をご覧ください。

Q. サークルやアルバイトと学業の両立はできますか？

A：所属するサークルやアルバイトの職種等によってかなり左右されると思われませんが、きちんとした自己管理と計画性を持っていれば、学業と両立させることは大抵の場合可能だと思います。サークル・一般同好会については以下のURLから確認してください。
http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/campus_career/extra_activity/gakuyukai/index.html
現在、多くの先輩がサークルやアルバイトと学業を両立させて、国際文化学部で学んでいます。

Q. 実家が遠いため1人暮らしをすることになるのですが。

A：1人暮らしをしている学生の大半は瀬田キャンパス、もしくは深草キャンパス周辺にアパートを借りています。龍谷大学生生活協同組合（<http://www.ryukoku-coop.com/>）で紹介している物件をご覧になれば様子が分かりますが、都心に比べると家賃は安めです。瀬田駅にはスーパーや飲食店などがたくさんあり、生活を送るうえでは便利な環境といえます。

Q. 英語教諭（中学・高校）の免許が取得できるそうですが。

A：取得できます。卒業までの4年間で教育職員免許状を取得しようとする場合、卒業に必要な単位だけではなく、教職に関する科目等を計画的に履修する必要があります。さらに、教育実習や介護等体験では事前・事後指導やガイダンスなどを受ける必要があります。しっかりと履修計画を立てて、教員免許取得に向けてがんばってください。

4年間のスケジュールについては、龍谷大学ホームページ教員免許取得までの流れ（<http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/kyoshoku/flow/index.html>）をご覧ください。

そうだ龍大だ!
そうや国際や!

We're moving in April, 2015! 京都

**国際文化学部が2015(平成27)年4月に
京都の深草キャンパスへ移転します。**

国際文化学部を受験する皆様へ

龍谷大学では、2015(平成27)年4月に滋賀県の瀬田キャンパスにある「国際文化学部」を京都市内の深草キャンパスに移転することを決定いたしました。
このため、**2013年4月に龍谷大学国際文化学部へ入学される方は、在学中に深草キャンパスへ移転いたします。**受験に際しては、ご注意ください。

2013年4月 国際文化学部入学生の所属キャンパス


2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
1年生	2年生	3年生	4年生

移転前 瀬田キャンパス  移転後 深草キャンパス 

龍谷大学瀬田キャンパス直通バス(2012年4月運行開始)

京阪電車 中書島駅 ↔ 龍谷大学 瀬田キャンパス

●運行時刻により所要時間は変わります。(30～36分) ●所要時間は、2012年3月1日現在の運行時刻で比較したものです。

京 橋 特急で31分	中 書 島	最短30分 バス 直通バス	龍谷大学 瀬田キャンパス	
寝屋川市 快速急行で26分 急行・特急で29分				
枚方市 特急で16分				

※座席は定員制です。定員になりましてご乗車を締め切らせていただきます。※定期券は販売しておりません。※乗降定期券制度は適用されません。※バスの運行は京阪京都交通がこなしています。

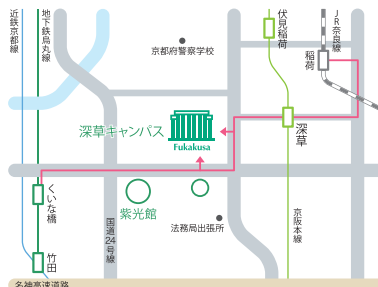
FUKAKUSA 深草キャンパス



深草キャンパスについての詳細はコチラ

<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/fukakusa/>

ケータイからはコチラ mobile QR →



- JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分

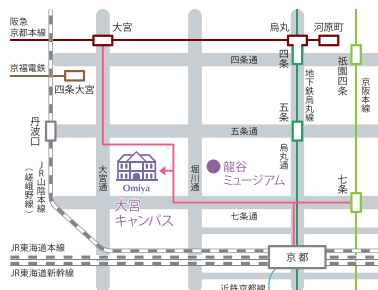
OMIYA 大宮キャンパス



大宮キャンパスについての詳細はコチラ

<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/omiya/>

ケータイからはコチラ mobile QR →



- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車、北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)

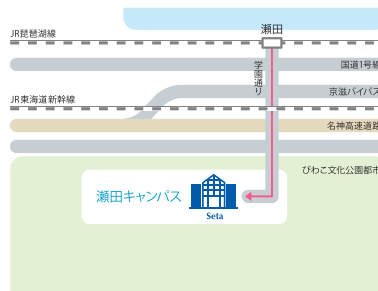
SETA 瀬田キャンパス



瀬田キャンパスについての詳細はコチラ

<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/seta/>

ケータイからはコチラ mobile QR →



- JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分
- 京阪本線「中書島」駅下車、京阪バス約30分



国際文化学部

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 TEL.077-543-7670(代表) FAX.077-543-7674
<http://www.world.ryukoku.ac.jp/> e-mail : world.ad@ryukoku.ac.jp